

卷末資料編

巻末資料

1. ワークショップ・協議会等の実施概要

本ビジョンの策定にあたっては、「市川市のこれからの観光を考えるワークショップ」および「市川市観光振興ビジョン策定協議会」を設置し、両会議での意見交換や助言を踏まえながら検討を行いました。また、市川市在住の外国人や市内の大学生、地域事業者へのヒアリングを通じて、市川市に関わるあらゆる視点からの意見・想いを汲み上げました。

(1) ワークショップ・協議会等の実施経過

ワークショップ名	日時	開催場所
事業者ヒアリング	令和 3(2021)年 7 月 20 日(火) ～令和 3(2021)年 9 月 24 日(金)	オンラインまたは電話
第 1 回 市川市のこれからの観光を 考えるワークショップ	令和 3(2021)年 7 月 29 日(木) 18:00～20:20	市川市役所第1庁舎 5 階第 4 委員会室
外国人ヒアリング	令和 3(2021)年 8 月 25 日(水) 9:30～11:00	国際交流ラウンジ (旧八幡市民談話室3階)
学生ワークショップ	令和 3(2021)年9月3日(金) 10:00～11:30	オンラインにて開催
第 2 回 市川市のこれからの観光を 考えるワークショップ	令和 3(2021)年10月19日(火) 16:00～19:00	市川市役所第1庁舎 5 階第 4 委員会室
第 3 回 市川市のこれからの観光を 考えるワークショップ	令和 3(2021)年 11 月 25 日(木) 16:00～19:00	市川市役所第1庁舎 5 階第 4 委員会室
市川市観光振興ビジョン 策定協議会	令和 4(2022)年 1 月 19 日(水) 14:00～15:10	市川市役所第1庁舎 5 階第 3 委員会室

(2) ワークショップ・協議会等の参加者・対象者一覧（敬称略）

市川市のこれからの観光を考えるワークショップ参加者一覧

No.	分野	氏名	団体名・役職等
1	インフルエンサー	イチ子	市川にゆ〜す 代表(運営者)
2		本八幡bot	本八幡bot 管理者
3	教育	山田 耕生	千葉商科大学 サービス創造学部 准教授
4	交通	長江 俊明	京成電鉄株式会社 京成八幡駅 駅長
5		高濱 立嗣	京成トランジットバス株式会社 運輸部 運輸課 主任
6		高橋 晃子	京成トランジットバス株式会社 運輸部 運輸課
7		持地 直美	東日本旅客鉄道株式会社 本八幡駅 駅長
8	子育て	勝部 久美子	特定非営利活動法人市川子ども文化ステーション 理事(事務局長)
9		石川 紗樹	特定非営利活動法人市川子ども文化ステーション 理事
10	宿泊施設	黒坂 峻輔	We Home 代表
11	商業施設	麻生 岳人	市川未来創造グループ 道の駅いちかわ 駅長
12		奥井 秀明	ニッケ・タウンパートナーズ株式会社 コルトンプラザ事業課 課長
13	商店会	土谷 幸司	八幡一番街商店会 会長
14	特産品	武藤 健司	JAいちかわ 市川経済センター 営農課長
15	文化	中基 洋	有限会社中台製作所 代表取締役
16		Shun Shirai	Shun@いちかわの魅力新発見&再発見
17	ボランティア	石塚 娃子	市川案内人の会 代表
18		宇都宮 仁子	市川案内人の会 八幡班 班長
19		吉井 正昭	市川案内人の会 大野班 班長
20		古賀 美富	市川案内人の会 中山班
21		服部 英信	国分川鯉のぼり実行委員会 実行委員長
22	メディア	宮山 透	株式会社ジェイコム千葉 市川・浦安局 地域プロデューサー アシスタントマネージャー
23		湊 美紀枝	株式会社明光企画 営業チーム いちかわ新聞編集長
24	市職員	西澤 拓哉	市川市 生活支援課 主任主事
25		柳澤 真美子	市川市 国民健康保険課 主任
26		大塚 康平	市川市 清掃事業課 主事
27		酒井 優衣	市川市 行徳支所総務課 主事
28		西野 眼人	市川市 考古博物館 主事

※「分野」→「団体名・役職等」での五十音順にて掲載(市職員を除く)。市職員のみ、組織順にて掲載。

事業者ヒアリング対象者一覧

No.	事業者名
1	市川案内人の会
2	行徳まちづくり協議会
3	市川市芸術文化団体協議会
4	中山法華経寺
5	ジェイアール東日本都市開発 市川ショッピングセンター
6	山崎製パン企業年金基金会館
7	モンパリエ勝

外国人ヒアリング参加者一覧

No.	氏名	出身国
1	セニヤリス・ビダル・ホセ・アントニオ	スペイン
2	ファム・ディー ニヨン	ベトナム
3	ハラト・ムディヤンセーラゲ・クサカ・ティロミ・ラシプラバ・ハラト	スリランカ
4	君島 小健	中国

学生ワークショップ参加者一覧

No.	氏名	所属
1	山田 耕生	千葉商科大学 サービス創造学部 准教授
2	酒井 玲音	千葉商科大学 サービス創造学部 学生
3	小山田 由伸	
4	白井 達也	
5	高橋 伶音	
6	佐藤 亜衣果	
7	金森 美月	
8	佐々木 愛	
9	横山 彩乃	

市川市観光振興ビジョン策定協議会構成員一覧

No.	氏名	団体名・役職等
1	戸坂 幸二	市川市観光協会 監事
2	宮田 克仁	市川商工会議所 議員
3	尾崎 洋	公益財団法人 市川市文化振興財団 事務局次長
4	平川 金造	公益財団法人 市川市花と緑のまちづくり財団
5	高梨 治夫	市川市国際交流協会 事務局長
6	小林 俊之	市川市自治会連合協議会 総括担当副会長
7	松丸 容理子	市川市商店会連合会 常任理事
8	関 武彦	市川市 観光部長

2. パブリックコメントの実施概要

案件名 市川市観光振興ビジョン（案）について

募集期間 令和4年2月1日(火)～令和4年3月2日(水) 30日間

(1) ご意見を提出していただいた方の人数及び件数

・インターネット	3名	16件
・ファクシミリ	0名	0件
・観光政策課への提出(持参)	0名	0件
・その他公表場所への提出(持参)	0名	0件
・郵送	0名	0件

(2) ご意見への市の対応

① ご意見を踏まえて、案の修正をするもの	4件
② 今後の参考にするもの	2件
③ ご意見の趣旨や内容について、考え方を盛り込み済みであるもの	6件
④ その他(本案そのものに対するご意見でないもの等)	4件

(3) ご意見の概要と市の考え方

No.	概要	市の考え方	対応
1	現状分析から実行に繋がる観光振興ビジョンを策定するためには、マーケティング手法でのアプローチは有効である。戦略策定においても、デスティネーション・マーケティング＝観光地マーケティングの視点が有効である。	本ビジョンは、現状把握調査において、SWOT分析を行うなど、マーケティングの手法を採り入れて策定いたしました。また、施策の設定においても、各観光資源の位置付けやターゲット、地域と市民・来訪者が価値を共有するストーリー作りなど、マーケティングに通ずる視点を反映しております。	③
2	キャッチフレーズとの関連で、観光資源の掘り起しでは、市外の人の方が意外な視点や想いを持っているかもしれない。特にインバウンドにおいては、若者や市外在住者にもヒアリングすべき。	本ビジョンの策定に向けて実施したアンケートでは、首都圏在住で本市への来訪経験が無い方も対象とし、様々なご意見を伺いました。インバウンドについても、外国人学生(外国人ヒアリング)や、市外在住のインバウンドアドバイザー(訪日メディアライター調査)へのヒアリングを実施しました。	③
3	キャッチフレーズの「気づいて市川」については、市川市の方から機会提供をすべきであり、市役所内の関連部署を横断した相互連携が望ましい。	観光は裾野が広い分野であるため、今後も関連部署と連携して観光施策を推進する旨、施策11へ記述いたします。	①

4	様々なアピールツールを活用し、本市独自のイメージの定着を図るべきである。	独自のイメージ定着については、基本方針1「地域ごとの魅力磨き上げと市川ブランドの確立」にて、方向性を定めています。また、情報発信を強化するために、基本方針4「ターゲットを見据えた的確な情報発信」及びその施策を設定し、観光資源やそのターゲットに合った的確なアピールツールを選定していきます。	②
5	アイ・リンクタウン展望施設は本市のランドマークであり、同施設の活性化は有効と考える。かつてのランドマークである国分寺七十塔跡から眺められたであろう景色を彷彿した CG を入れて欲しい。	アイ・リンクタウン展望施設以外にも、眺望スポットと呼べる場所が本市にはあることから、CG 作成などを通じた情報発信や見せ方の工夫を凝らしていきます。	②
6	誤字・脱字と思われる箇所に対するご指摘。	ご指摘の箇所を全て確認し、必要と思われる箇所について、修正いたしました。	①
7	P.22～24 へ、第1～3回ワークショップの参加者を記載すべき。	パブリックコメント実施中にワークショップの参加者から承諾を得られましたので、巻末資料に掲載いたします。	③
8	千葉県は 2019 年に「第 3 次観光立県ちば推進基本計画」を策定しており、県としての観光戦略や推進体制、また市川市をバイエリア地域と位置付けた分析や課題を掲げている。P.7 の「千葉県の観光政策」について記述すべきではないか。	千葉県が策定した計画や課題は、本市の観光政策にも関係することから、第 2 章の2-1(4)「千葉県の観光政策」として記述いたします。	①
9	新型コロナウイルスに言及した国の「観光ビジョン実現プログラム 2020」について記述すべきではないか。	直近で国が示した計画として、新型コロナウイルスへの対応については、第 2 章の2-1(3)「国の観光政策」にて記述いたします。	①
10	キャッチフレーズ「気づいて市川 築いて ICHIKAWA」は、観光振興のこととは分からず建築のことと思われてしまうのではないかと。市民等に観光推進を訴求するのなら、「気づいて 築こう観光市川」あるいは「気づこう 築こう観光市川」が良いのではないかと。	「キャッチフレーズに込めた想い」については、第 3 章の3-2「キャッチフレーズ」にて言及しております。多くの方にこの内容についてご理解いただき、地域が一体となって観光を推進できるように努めてまいります。	④
11	予算や委託など、本ビジョン案策定の因果関係として必要な事項を、巻末資料に残すべきではないか。	予算やプロポーザルに関する情報は、本市公式 web サイト等に掲載されており、適切な媒体で周知しております。	④

12	抽象的な文言に終始し、アイ・リンクタウン展望施設以外に具体的な施設やイベントに関する調査、分析、施策が無い。内容をより具体的にするために再検討すべきではないか。	本ビジョンは、個別具体的な実施計画ではなく、観光に関連する市民・団体・事業者らと共有する中長期的な将来像となっています。策定後も、本ビジョンが広く浸透していくよう、周知してまいります。	④
13	発行元、年、連絡先、担当者等は必須事項なので、巻末に記載すべき。	パブリックコメントを経た策定時に掲載する予定でありましたので、巻末に発行元、発行年月、担当部署及びその連絡先等は記載いたします。	③
14	基本方針 4 で「情報の発信力アップ」とあるが、市川市観光協会のホームページはすぐに改善すべきであり、本ビジョン案中にも観光協会の HP を情報発信の核とすると明記すべきではないか。	基本方針 4 の施策 12 にて、「市川市観光協会やその他の関係団体との連携を強化し～(中略)、市全体としての発信力アップを図ります。」としていることから、同協会を含めた確かな情報発信に言及しております。	③
15	本ビジョンは、「令和 2 年度当初予算(2,000 万円)、令和 3 年度当初予算(1,000 万円)本市の魅力を活かした都市型観光を推進するため、観光振興ビジョンを策定します」とある。よって、本ビジョン完成の暁には、3000 万円掛けた成果として、キャッチフレーズも含めて「広報いちかわ」で広く市民等に知らせるべき。	本ビジョンの周知については、内容を分かりやすくまとめた概要版の公表・周知を通じて行ってまいります。なお、本ビジョンに係る予算については、令和 2 年度当初予算を減額補正して執行せず、令和 3 年度当初予算のみを執行しています。	④
16	とても良いビジョンや意見が多くあり嬉しく思う。大町地区に居住している者として、地域の魅力を市内外の方々へもっと伝えてほしい。梨街道含むレクリエーションゾーンの集客には、とにかく歩道の整備に尽き、それにより自ずと来訪者増加に繋がると思う。	基本方針1にて、地域ごとの魅力磨き上げや周遊性の向上について掲げております。	③

3. 現状把握調査の実施概要

観光振興ビジョンの策定にあたり、「市川市の観光の客観的な現状」を把握するため、市川市のイメージや観光資源の認知度・興味度、来訪者の旅行実態、市川市の観光に対するニーズなどに係る各種調査を行いました。調査の実施概要を以下の通りに示します。

(1) 首都圏 WEB アンケート

項目	内容
調査対象	● 首都圏主要自治体：東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県(市川市以外)
実施期間	● 令和3(2021)年7月3日(土)～7月4日(日)
回収票数	● 300 サンプル
実施方法	● WEB 調査
主な調査内容	● 回答者の属性 ● 訪問経験 ● 市川市の観光資源の認識や観光地としての印象 ● 普段のおでかけ 等

(2) 来訪者アンケート

項目	内容
調査対象	● 市内観光施設の来訪者 (道の駅いちかわ、いちかわ観光物産インフォメーション、アイ・リンクタウン展望施設、あいねすと(行徳野鳥観察舎)、ニッケコルトンプラザ、市川市動植物園、クリーンスパ市川)
実施期間	● 令和3(2021)年8月17日(火)～9月26日(日)
回収票数	● 65 サンプル
実施方法	● 紙面調査 ● WEB 調査
主な調査内容	● 回答者の属性 ● 今回の来訪内容 ● 来訪の満足度 ● 消費額 等

(3) ビックデータ調査

項目	内容
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ● トリップアドバイザー口コミ集計 ● Twitter ハッシュタグ集計 ● RESAS(地域経済分析システム)による調査
主な調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ● トリップアドバイザーにおける市川市の観光スポットにおける口コミ内容の評価 ● トリップアドバイザー口コミ評価上位 10 資源における Twitter でのハッシュタグツイートの集計 ● RESAS(地域経済分析システム)における外国人滞在スポットの把握

(4) 市民アンケート (e-モニター調査)

項目	内容
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民および市と関係がある市外の方(市川市が運営する登録制のアンケート制度、市川市 e-モニター制度に登録しているモニターの方)
実施期間	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和 3(2021)年 8 月 3 日(火)~8 月 16 日(月)
回収票数	<ul style="list-style-type: none"> ● 1,353 サンプル
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ● WEB 調査
主な調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 市川市の観光振興への認識 ● 市川市の観光振興への期待度 ● 市民の誇れる観光資源 等

(5) 訪日メディアライター調査

項目	内容
調査実施者	<ul style="list-style-type: none"> ● 訪日外国人メディアライター1名 (サミュエル・トーマス氏)
実施日	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和 3(2021)年 12 月 8 日(水)
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国人ヒアリング調査等、既往調査によって抽出された訪日外国人に おすすめしたい市川市内の観光資源の視察・評価 ● 視察結果を踏まえた意見交換会
視察箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・行徳神輿ミュージアム ・中山法華経寺 ・アイ・リンクタウン展望施設 ・葛飾八幡宮 ・行徳ふれあい伝承館 ・東山魁夷記念館 ・いちかわ観光物産インフォメーション
意見交換の観点	<ul style="list-style-type: none"> ● 市川市の観光資源の魅力や課題、磨き上げのポイント ● 受入環境の改善ポイント(案内サインやコンテンツの多言語対応など) ● 市川市の観光資源の外国人へのプロモーション方法について